

【学生向け】2020 年秋セメスター授業に関するガイドライン (Version 2 .0)

(2020 年 9 月 18 日 APU 教学部)

1. 本ガイドラインについて

本ガイドラインには、2020 年秋セメスターの授業を開始するにあたり、学生の皆さんに知っておいてほしい事項や遵守してもらいたいルールが記載されています。

秋セメスターは、春セメスターと異なり、一部の授業が対面で行われます。秋セメスターからは感染拡大防止に取り組みながら、できるだけ多くの学生がキャンパスで授業を受けることを実現させたいという思いから、本学では一部の授業を対面を実施する判断をいたしました。

しかしながら、海外では新型コロナウイルスの感染拡大は依然として続いており、日本国内の感染状況も今後どのように変化するかは全く見通しが立っていません。

大学として最も優先しなければならないことは学生・教職員の生命・健康・安全の確保です。今後日本国内で感染が拡大する状況となれば、予定している対面授業を全て「オンライン (Zoom)」に切り替える可能性がありますので、十分に留意してください。

キャンパスでの感染拡大を防止するためには、大学が対策を講じるだけでは不十分で、学生・教職員を含む構成員一人ひとりがウィズ・コロナ時代に対応した「新しい生活様式」を意識しながら行動することが求められます。大学のように多くの人達が集まる場所においては、自身が感染するリスクだけでなく、他の学生に感染させるリスクもあることを十分に理解した上で、本ガイドラインを良く読み、秋セメスターからの授業に備えてくれることを期待します。

2. 開講する科目の授業形態について

秋セメスターは、「対面+Online (Zoom)」もしくは「Online (Zoom)」のいずれかの方法で授業を受講することになります。いずれの方法でも「Online (Zoom)」で受講することができますので、入国制限等により別府に来ることができなくても遠隔地からの Online (Zoom) 受講が可能です。

授業の実施形態は、時間割に記載されています。履修登録を行う際は、どの授業が「対面+Online (Zoom)」か「Online (Zoom)」なのかを必ず確認してください。

なお、言語教育科目、APM 必修科目、スタディスキル・アカデミックライティングは「Online (Zoom)」によるオンライン授業のみとなります。

(1) 「対面+Online (Zoom)」による授業

- ・ 教員は教室で授業を行います。対面を希望する学生はキャンパスに来て、教員が授業を行っている教室で授業を受けます。この授業は同時に「Online (Zoom)」に接続して行いますので、「Online (Zoom)」で受講する学生もいます。
- ・ 「対面」で受講するか、「Online (Zoom)」で受講するかは、履修登録の際に Campusmate に

て希望する実施形態の科目を登録した場合は、原則として最後まで教室で授業を受けることとなります。

- ・ 「対面」の場合、パソコンやタブレットなどのデバイスを持ってくることを前提とはしていませんが、「Online(Zoom)」で受講している学生とのグループワークを実施するなど、授業によってはデバイスを持参するよう求められることがあります。授業に必要な機器備品は、シラバスや初回の授業で確認し、担当教員の指示に従ってください。
- ・ 「Online(Zoom)」受講する場合は、PC などのデバイスおよびインターネットに安定的に接続できる環境が必要です。

(2) 「Online(Zoom)」による授業

- ・ 教員は研究室等から「Online(Zoom)」のみで授業を行います。
- ・ 授業を受講するためには PC などのデバイスおよびインターネットに安定的に接続できる環境が必要です。

3. 授業の受講について

(1) 「対面+Online(Zoom)」による授業

大学では、キャンパスや教室での「3 密」を回避するために以下の対策を講じます。学生の皆さんも「感染から自分を守る。他の人に感染させない」という意識を持ち、感染防止に協力してください。

① マスクは常に着用する

授業中だけでなく、バス等の交通公共機関を利用した通学・下校中やキャンパス滞在中は必ずマスクを着用してください。マスクを忘れた場合は、各自で生協のショップ等で購入し、必ず着用して授業に参加してください。

②指定された座席に着席する

三密を避けるため、教室で着席する席を制限しています。教室で授業を受講する際は、許可された座席のみ使用してください。座席が指定されていない教室では、隣の学生と最低でも 1m は空けて着席するようにしてください。

③グループワークについて

グループワークを行う際には、マスクを着用したうえで最低でも 1m 以上の間隔を取ってグループワークを行ってください。また、「Online(Zoom)」で受講している学生と一緒にグループワークを行う場合は、「Online(Zoom)」が使用できるデバイスおよびマイク・イヤホンが必要となります。準備が必要なものは、担当教員からの指示に従ってください。

④その他

- ・教員はマスクもしくはマウスガードを着用して授業を行います。
- ・発話が多い授業などでは、飛沫感染を防ぐためマウスガードの着用をお願いする場合があります。
- ・飛沫拡散防止のために、教室の教卓付近に透明の遮蔽板を設置します。
- ・教室内の換気のために、窓や出入り口を開放して授業を行うことがあります。窓の開閉については、皆さんのご協力もお願いします。
- ・教室の構造によっては、換気を促進させるためにサーキュレーターを使用します。

(2)「Online(Zoom)」による授業

① 他者のプライバシーや肖像権を侵害しない

「Online(Zoom)」授業では授業の様子や教員及び他の学生の姿などを記録しやすい環境がありますが、これらの画像や映像、音声等のデータを無断で記録し SNS 等で公開する行為はプライバシー権や肖像権の侵害に抵触する可能性がありますので注意してください。

② 複数のデバイスを使わない

「Online(Zoom)」授業では、1 人 1 デバイスのみ接続が許可されています。収容数に上限がありますので、複数のデバイス(PC+スマートフォンなど)でログインするとログインした数のアカウント数が使用されるため、受講予定の学生が受講できなくなる場合があります。必ず 1 人 1 デバイスを守ってください。

③ Zoom 上の表示名

Zoom 画面で表示される氏名は教員にとって重要な情報です。ニックネームは使用せず、Zoom のアカウント氏名(英字フルネーム)を表示するようにしてください。ただし、教員の指示で変更する必要がある場合は、その指示に従ってください。

④ 授業中のマナーを守る

参加者皆さんが不快な思いをすることなく授業を受けることができるように以下のようなマナーを守って「オンライン(Zoom)」授業を受講してください。悪質なマナー違反は他の学生の学ぶ権利を奪うことになります。

真剣に学びたい学生の権利を守るため、悪質なマナー違反等を行う学生に対しては履修登録の取り消しや懲戒処分を行う場合があります。

<守るべきマナーの例>

- 自分の発言時以外は、マイクを off にして雑音が入らないようにする。
- 自宅でも気を抜かず通常の授業と同じ態度で授業に臨む。(例. 極端にリラックスした態度をとらない、食事をしない、など)
- 他者の画面共有中などに Zoom の機能を用いた落書き行為をしない。
- 履修登録していない授業には参加しない。
- チャット機能で不要な書き込みをしない。
- 他人が不快に思うようなバーチャル背景やプロフィール画像を使用しない。

※バーチャル背景については APU 指定のものの使用を推奨しています。

また、プロフィール画像は本人写真を使うことを原則としていますが、宗教的・政治的に配慮した上でその他の写真を利用しても構いません。

4. Zoom の利用に関して

(1)自分が悪意ある攻撃者とならないこと

悪意ある人物が Zoom のミーティング等に入ってくる事例が国内外で報告されています。APU では最大限の対策を行っていますが、完全に防ぐことができない場合もあります。APU 生としてこうした人物を許さない姿勢を持つこと、そして自らが攻撃者とならないことがとても重要です。Zoom 利用にあたってのセキュリティ設定については、アカデミック・オフィスウェブサイトのオンライン(Zoom)授業ページに掲載しています。特にミーティングをホスト(主催)する場合には、必ず内容を確認し、遵守してください。

(2)接続環境の悪化などで授業に出席できなかった場合

授業中に突然、一時的に接続できなくなった場合は、何度か入室を試みてください。それでもうまくいかない場合には、インターネット接続が可能な状態で担当教員にメールで連絡をしてください。

以下の方法も参考に、出来る限り入室を試みてください。

- ・ ネットへの接続環境を変えてみる(有線接続に変える、無線 LAN ルーターに近づく)
- ・ 授業に使わないソフトやアプリを閉じてみる
- ・ ミーティング ID やミーティングパスワードの入力間違いがないか再確認する(5 回間違えると 30 分間入室できない状態となります)
- ・ デバイスを再起動してみる

5. 開放教室の利用について

あらかじめ指定された空き教室を利用して、「オンライン(Zoom)」を受けることができます。例えば、1 限目が対面、2 限目がオンライン(Zoom)3 限目が対面の授業の場合、1 限目と 3 限目は授業が実施される教室で出席し、2 限目の授業は開放されている教室を使い「オンライン(Zoom)」で授業を受けることが可能です。開放される教室は、[アカデミック・オフィスのウェブサイト](#)に掲載されますので各自確認して利用してください。

これらの教室では、あらかじめ指定された座席に座るようにしてください。また、同じ教室には他の授業を受講している学生もいますので、私語は慎むようにしてください。

また、学内のインターネット環境は整備を行っていますが、利用者が多い場合など接続しにくくなることがありますので注意してください。

6. 授業欠席について

(1) 体調不良の場合

- ・ 体調不良の場合は、対面で授業を履修している場合でもキャンパスへの登校を控え、オンラインで授業を受講してください。
- ・ オンラインでも授業を受けることが難しい場合は、風邪などによる体調不良時と同様に欠席期間により短期欠席の対象となる場合があります。
- ・ 以下の症状がある場合は、[病状確認シート](#)に回答後、APU ヘルスクリニックにメール(booking@apu.ac.jp)で連絡し、指示を受けてください。

- 息苦しさ(呼吸困難)、強いだるさ(倦怠感)、高熱等の強い症状のいずれかがある場合
- 重症化しやすい方(糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD 等)等の基礎疾患がある方や透析を受けている方、免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方)や妊娠している方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪の症状がある場合
- 上記以外で、発熱や咳など比較的軽い風邪症状が続く場合。

キャンパスにおいて、体調が悪くなった場合は直ちにヘルスクリニックへ相談してください。

<法定感染症の取り扱いについて>

2020 年秋セメスターについては新型コロナウイルス感染症・季節性インフルエンザに罹患した場合でもオンラインでの授業受講が可能のため、法定感染症による出席停止の対象とはなりません。新型コロナウイルス・インフルエンザにより体調が優れず、オンラインでも授業を受けることが難しい場合は、風邪などによる体調不良時と同様に欠席日数に応じ、短期授業欠席(5 授業日間以上)、または入院などで長期期間になる場合は長期授業欠席の申請対象となります。詳細は以下のアカデミック・オフィスのウェブサイトを確認ください。

●授業欠席について

<http://www.apu.ac.jp/academic/page/content0016.html/?c=17>

(2) 濃厚接触者に認定された場合

- ・ 新型コロナウイルスの濃厚接触者と判断された場合は、対面で授業を履修している場合でもキャンパスへの登校を控え、オンラインで授業を受講してください。

7. 録画授業の受講について

「Online(Zoom)」授業はリアルタイムで受講することを基本としていますが、録画を視聴することによって十分な教育効果が期待できる科目に限り、一定の要件を満たす学生にのみ録画受講を認めています。録画視聴による受講を希望する学生は、事前の申請が必要となります。

詳細は、【新生、復学・再入学生向け】2020 年秋 Semester 録画視聴による受講についてのページを確認してください。

8. 期末試験期間(第1クォーター:11/23-25 第2クォーター:2/1-5)について

- ・ 学年暦で期末試験期間として設定された期間に、試験は行われません。(ただし、期末レポートの提出受付は、この期間に実施されます)
- ・ 試験を行う科目は、期末試験期間前までの授業中に行われる可能性がありますので、シラバスを確認してください。不明な点は、授業の担当教員に確認してください。
- ・ 期末試験期間として設定していた期間は、授業予備期間となります。この期間は、万が一新型コロナウイルスの影響等により授業ができない期間が発生した場合に授業を実施する可能性がありますので、予定等を入れないでください
- ・ 「Online(Zoom)」で受講した場合と「対面」で受講した場合とで成績評価に違いはありません。